

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	乗用車販売店（経営者）	・各メーカーが新型車を相次いで投入していくため、販売につながる。
		テーマパーク（職員）	・東海北陸自動車道の開通効果は、今後もしばらく続く。
		ゴルフ場（企画担当）	・2、3か月先の予約件数は、前年を上回っている。8月は暑さの影響もあり今一つであったが、今後は良くなっていく。
		美容室（経営者）	・7、8月は暑さにより来店しなかった客がいるため、今後はその反動で忙しくなっていく。
	変わらない	商店街（代表者）	・ガソリン価格が値下がりしても、原材料価格の高騰は続くため、全体的には変わらない。
		商店街（代表者）	・今後も生活費がかさむため、し好品の節約は続く。
		商店街（代表者）	・50、60代の世帯の購買力が落ちてきているが、地上デジタル放送への移行に伴うテレビ等の買換えが増えるため、補うことができる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・ガソリン価格が安定しつつあるため、現状維持が見込める。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・ガソリン価格が若干低下する見込みであるため、消費は今後も横ばいか、少しずつ増える可能性もある。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・諸物価の上昇が続くため、飲食店の利用は引き続き減少する。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	・地元では、企業倒産の噂が絶えない。すぐに必要でない物は買わない傾向は、今後続く。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・高額商品を購入する客もおり、極端に悪くなることはない。しかし、良くもならない。
		百貨店（売場主任）	・買い控えは今後も続く。
		百貨店（企画担当）	・価格に対する厳しい目は、今後続く。しかし、セールや優待会などの工夫次第では、売上の増加も可能である。
		スーパー（営業担当）	・物価高、原油高は今後も続くため、買い控えも続く。
		コンビニ（エリア担当）	・タスポ効果により、当面は売上の増加が続く。
		衣料品専門店（売場担当）	・物価の上昇が一段落したとしても、消費者の心理は改善しない。低迷は、冬のクリアランスセールまで続く。
		家電量販店（店員）	・地上デジタル放送への移行に伴い、テレビの買換え需要がある。パソコンの買換えも堅調である。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格が低下しない場合は、車の販売は難しく、生き残りが厳しくなってくる。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリン、タイヤ、新車の値上がりが続くため、厳しい状況が続く。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリンを始め諸物価の上昇に加えて、企業業績が悪化しており、今後に向けたプラス要素はない。
		都市型ホテル（支配人）	・石油を始め諸物価の上昇により収益が悪化しているが、今後は販売価格に転嫁できないどころか、値下がり傾向であるため、厳しさは続く。
		都市型ホテル（営業担当）	・客の消費控えは今後も続く。
		通信会社（サービス担当）	・今後大幅な人員削減が予定されており、業務は縮小していく。
		美顔美容室（経営者）	・ほとんどの客が車で来店するが、ガソリン価格の上昇は今後も続くため、出控えが続く。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン控除の延長が決まりそうであるが、駆け込み需要を見込んでいた建築工期の短い案件や住宅購入が、先送りされる可能性がある。
		やや悪くなる	一般小売店〔書店〕（経営者）
	百貨店（外商担当）		・ガソリン価格の高騰による影響は、今後もしばらく続く。
	スーパー（経営者）		・燃料価格の高騰に加えて、近隣では大型店がまた新たにオープンする。中小スーパーの経営はますます厳しくなる。
	スーパー（店長）		・ガソリン価格の高騰は一段落しても、小麦粉を始め他の商品の値上げもあり、客の財布のひもは今後も固い。
	コンビニ（商品開発担当）		・メーカーの商品値上げは今後も続くため、買い控えは続く。
	家電量販店（店員）	・夏場にエアコンやオリンピック関係の売上が増えた反動で、今後はやや悪くなる。	

		乗用車販売店（従業員）	・今後値上げする車種もあり、販売量は前年を下回る。
		一般レストラン（経営者）	・燃料費等の値上がりは続くため、景気が上向く要素はない。
		一般レストラン（スタッフ）	・原材料価格の高騰に伴い、今後値上げを実施するので、来客数は減少する。
		観光型ホテル（経営者）	・企業では諸費用がかさんでいるが、今後もこの状況は改善に向かわない。レジャーは経費削減の対象となりやすいため、今後はますます厳しくなる。
		都市型ホテル（従業員）	・予約件数をみると、今後も悪くなっていく。
		旅行代理店（従業員）	・原油高は今後も変わらず、燃油サーチャージの高止まりも続くため、良くならない。
		タクシー運転手	・物価の上昇は今後も続くため、法人客、個人客共に利用回数は減少していく。
		テーマパーク（職員）	・ガソリン価格の高止まりにより、自動車利用者は今後も減少する。加えて、高速道路の開通に伴い、客は素通りしていく。
		ゴルフ場（経営者）	・ガソリンを始め諸物価の高騰により、ゴルフの回数を減らす人が今後も増加する。料金値下げをしたいのだが、ゴルフ場でも経費が増加するため、対応しきれない。
		理美容室（経営者）	・諸物価の高騰のため、来店回数はますます減る。
		美容室（経営者）	・諸物価の高騰はまた続くため、客の節約志向は今後も続く。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・仕入原価が高騰し、今後はますます経費がかさむ。
		住宅販売会社（企画担当）	・建築資材メーカーから、9、10月以降の値上げの連絡がある。客の様子見も続く。
	悪くなる	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・原料高に伴う諸物価の高騰は今後も続くため、個人消費は更に低迷する。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	・原材料価格の高騰に伴い、今後製品価格は上昇するため、消費はますます冷え込んでいく。
		スーパー（店長）	・食品の値上げは続くため、今後も更に厳しくなる。
		コンビニ（店長）	・仕入価格の上昇は今後も続く。
		コンビニ（企画担当）	・物価高は続くため、消費はますます冷えていく。
		旅行代理店（従業員）	・航空会社の燃油サーチャージは今後も高止まりする見込みであり、秋冬の海外旅行にも影響が出てくる。
		住宅販売会社（経営者）	・預金がほとんどない客が多く、不動産を購入できない状況は、今後も続く。
		住宅販売会社（従業員）	・資材価格が高騰するため、今後は一段と悪化していく。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる 変わらない	-	-
		食料品製造業（企画担当）	・これまでに値上げした商品は、販売数量が減少していることから、今後も厳しい状況が続く。
		化学工業（企画担当）	・原油価格が今後落ち着いても、高値であることに変わりはない。原材料価格の上昇は今後も続き、厳しさは変わらない。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・在庫が増加しつつあり、2、3か月先も回復の見込みはない。
		金属製品製造業（経営者）	・市場の拡大は見込めず、原材料価格の高止まりもしばらく続くため、今後も厳しさは変わらない。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・大手の取引先からの受注は増加しないため、今後も変わらない。
		輸送業（従業員）	・燃料サーチャージを実施するが、荷主が受け入れてくれるかどうか懸念される。
		輸送業（エリア担当）	・原油高に伴う経費の増加は今後も続くが、転嫁もできないので我慢が続く。
		金融業（企画担当）	・原材料高を販売価格に転嫁せざるを得ない企業が多く、物価上昇によって消費は今後も低迷するため、企業の先行きは相変わらず厳しい。
		不動産業（開発担当）	・住宅需要が回復する兆しはないが、鋼材等の原材料価格の高騰は落ち着きそうであり、全体としては今後も変わらない。
		会計事務所（社会保険労務士）	・ガソリン価格は落ち着く様子であるが、自動車の減産の影響が今後出てくるため、現状維持が続く。
	やや悪くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・原材料の高騰分を、今後も販売価格に転嫁できない。また、受注量、販売量共に減少していく。

	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・原価の上昇は、止まる兆しがない。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・受注量の減少もあり、経費の増加を吸収できないため、今後一段と厳しくなる。
	電気機械器具製造業（企画担当）	・取引先では設備投資の先送りが見込まれており、受注量は減少する。
	電気機械器具製造業（経営者）	・9、10月に鉄鋼が再値上げされることが決定しているが、販売価格に転嫁すると、受注が取れなくなっていく。
	輸送用機械器具製造業（統括）	・原油高やサブプライムローンの影響で受注量が減少しているが、今後も回復する見込みはない。
	輸送用機械器具製造業（財務担当）	・完成車メーカーからの受注の減少を背景に、部品メーカーが設備投資を一層控えるのは必至である。今後は関連産業にも影響が広がる。
	建設業（経営者）	・建築関係では、受注の減少に加えて、原材料価格の高騰もあり、景気が良くなる要素はない。
	建設業（総務担当）	・建設業の不振は続き、今後はその影響が他産業にも波及していく。
	輸送業（エリア担当）	・自動車の減産と共に、地域全体の生産が減少していく。
	輸送業（エリア担当）	・燃料を始めタイヤ、ホイール、車両が軒並み値上がりするため、今後は車を稼働させても利益がほとんど出なくなっていく。
	輸送業（エリア担当）	・ガソリンや原材料の価格高騰は今後も続くため、家計が消費を抑えることによって、荷動きにも影響が出てくる。
	広告代理店（制作担当）	・取引先企業では経費の増加が厳しく、今後は現状を維持することも非常に難しい。
	行政書士	・仕事があっても、燃料価格の高騰によって、利益の増加は望めない。
	経営コンサルタント	・マンションを始め投資物件についてはファンド関連の需要がなくなっており、現金一括で買えるような人以外の需要はない。4億や6億など極端な値引きの事例が増えており、今後の物件価格は買い手の言い値で決まるようになる。一般の戸建住宅についても、所得不安、年金不安、正規社員の減少と非正規社員の増加により、需要はなくなっていく。
	会計事務所（職員）	・顧問先の中小企業では、原材料価格の高騰に伴う経費増加が影響し、収益の見通しは良くない。
	悪くなる	
	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	・数か月先には、段ボールの原材料の価格が10%以上上昇する。この上昇分を、販売価格に完全には転嫁できない可能性がある。
	鉄鋼業（経営者）	・需要の減少によって、値下げ競争が始まる。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・原材料価格の高騰分を価格転嫁できないなか、売上は伸び悩み、収益を圧迫する。
	輸送業（経営者）	・消費者の買い控えにより、消費財の荷動きが悪くなる。また、自動車関連の物流も減少する。
	不動産業（経営者）	・金融機関からの融資が望めない状況にあり、不動産会社の倒産が増える可能性がある。
	公認会計士	・原材料高は今後も続き、自動車産業の業績は改善する見込みがない。
雇用関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	変わらない	職業安定所（職員）
		・新規求人数は、下げ止まる兆しがある。しばらくは現状が続く。
	やや悪くなる	人材派遣会社（経営企画）
		・開発予算を抑制する動きは、今後更に広がる。
		人材派遣会社（経営者）
		・企業は経費の見直しを進めており、派遣社員の削減は今後も続く。IT関連でも同様である。
		人材派遣会社（社員）
		・求人を取り止めるケースが増加しており、今後は厳しくなる。
		人材派遣会社（社員）
		・企業は派遣社員の採用を抑制しており、特に景気に影響されやすい短期派遣の注文が大幅に減少している。この傾向は当面続く。
		人材派遣会社（支店長）
		・各企業は労務費の削減を本格的に進めているため、派遣社員の雇止めなどは当面続く。派遣市場は縮小傾向になる。
		アウトソーシング企業（エリア担当）
		・新規の注文は、今後も減少していく。派遣や請負に対する規制強化の動きも、業界にとって逆風である。
		求人情報誌製作会社（企画担当）
		・人材派遣業からの求人が一気に減少しているが、他の業種でも徐々に減少してきており、今後は更に悪化する。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）
		・一般求人の広告件数は、第1四半期、第2四半期と続けて、減少幅が拡大している。特に製造業の正社員募集が、大きく減少している。今後の雇用情勢は一段と厳しくなる。

	職業安定所（所長）	・新規求人数は、パート求人の減少が大きく、前年同期比で10%を超える減少が続いている。今後もこの傾向は続く。
	職業安定所（職員）	・求人数の減少と新規求職者数の増加は、今後も続く。
	職業安定所（職員）	・原油や原材料の価格高騰は今後も続くため、企業では人件費を含めた経費の削減が進められる。
悪くなる	求人情報誌製作会社（編集担当）	・求人数の減少は今後も続く。